

議会だより

しょうわ

2009.7.27

No. **142**

山梨県昭和町議会ホームページ
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>



題字

昭和町河西在位の書道家

伊藤緑山氏

山梨県書道会常任理事
山梨書作家連名事務局長
山日席書専門委員・審査員等

— 常永小5年生 —

新委員会構成	2
議案審議 常永児童館を増築	4
委員会質疑	6
町長・職員・議員の期末手当を減額	7
井戸端会議(住民・議員の対話集会)	8
7議員が一般質問	12
追跡 あの質問はどうなった?	17

5月第1回臨時会



副議長
萩原 馨



議長
浅川 武男

地方分権改革が進み、これまで以上に自治体の政策決定の良し悪しで、住民や地域社会の生活が変わる時代となりました。昭和町の政策決定を担うのは、最終的に地域住民ですが、代表民主主義をとっている関係から、日常的には、町長と議会が政策決定を任されています。議会は住民を代表する機関として、町民との対話に努め、民意が政策に反映されるよう積極的な役割を果たしていきます。

新委員会構成決まる

議会運営委員会

委員長 山田 昇
副委員長 福島 正明
委員 野中 敏美
" 保坂 明子
" 河住 保茂
" 三井 猛
" 萩原 馨

監査委員

山田 昇

甲府地区広域行政事務組合議会議員

浅川 武男
塚原 将司

中巨摩地区広域事務組合議会議員

萩原 馨
樋口 敏夫

三郡衛生組合議会議員

志村 茂
田中 博愛

山梨県後期高齢者医療広域連合議会議員

深澤 平助

水源対策特別委員会

委員長 河住 保茂
副委員長 塩澤 浩
委員 議会議員全員

地方分権対策特別委員会

委員長 三井 猛
副委員長 遠藤 辰男
委員 議会議員全員

広報編集特別委員会

委員長 河田あけみ
副委員長 河住 保茂
委員 萩原 馨
" 保坂 明子
" 野中 敏美
" 塩澤 浩

消防委員

浅川 武男 遠藤 辰男
三井 猛 塚原 将司

いまさら
聞けない
議会の疑問

Q 委員会って何？

A 議会の内部組織として、条例によって常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を置くことができます。各委員会は本会議における審議の予備的審査や調査、研究を行っています。

2年間の任期満了に伴い、5月8日、各委員会の構成と役割を決定しました。新しい委員会の構成は次のとおりです。

平成21年

6月定例会

平成21年6月定例会は、6月17日から23日までの7日間の日程で開きました。

今定例会では、一般会計補正予算・介護保険特別会計補正予算2件のほか、工事請負契約の締結3件、普通財産の譲渡1件、請願2件、意見書3件が上程され、全ての案件が全会一致で可決または採択しました。

予算

一般会計補正予算

1億3138万円を追加

総額 71億1138万円

【歳出の主なもの】

- 法人町民税の返還金 5000万円
- 常永児童館の設計委託と増築工事 3700万円
- 中小企業ものづくり研究開発支援事業 1440万円
- 公用車の買い替え 1100万円
- 保育所費 624万円
- 財政調整基金の取り崩し 6371万円
- 国庫支出金 4992万円
- 県支出金 1775万円

国の補正予算に伴う経済対策である地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業で、子育て支援対策として常永児童館の増築、環境対策として公用車の買い替え、災害時の自主防災活動を支援する防災研修・マニュアル等の作成委託業務料を計上。未曾有の景気の落ち込みから、法人町民税の予定納税分の還付金および還付加算金を計上しました。

介護保険特別会計補正予算 43万円を追加
総額 5億7349万円になりました。

契約の承認

- ・押原公園整備工事
第1工区請負契約の締結
(契約の方法)
公募型指名競争入札
(契約金額)
1億951万5千円
- (契約の相手)
「甲府市」富士グリーンテック・石原グリーン建設JV
- ・押原公園整備工事
第2工区請負契約の締結
(契約の方法)
公募型指名競争入札
(契約金額) 9450万円
- (契約の相手)
「甲府市」斎藤建設・山梨ガーデンJV
- ・常永土地区画整理地内
4号調整池工事契約(変更)の締結
(契約金額)
変更前 4億404万円
変更後 4億2778万円
- (契約の相手)
「甲府市」早野組・羽黒工業JV
- (変更の内容)
仮設工(ウエルポイント)の増工



整備が進む押原公園

墓地となつている町有地を寺院に譲渡

普通財産の無償譲渡

町有地を墓地の用に供している昭和町上河東の宗教法人妙福寺から、町の公有財産管理規則に基づき譲与申請があったもので、議会は全員賛成で無償譲渡を認めました。

子育て支援策

常永児童館を増築

常永児童館で遊ぶ子どもたち



請願を採択し意見書を可決

請願

教育予算拡充、教育の機会均等および水準の向上を図るための請願

請願者 昭和町PTA協議会

会長 望月 規充

要旨

- ・義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
 - ・地方交付税を含む国の教育予算を拡充すること。
 - ・少人数教育を実現するため教職員定数の改善を図ること。
- 全会一致で採択し、請願と同趣旨の意見書を政府関係機関に提出しました。
- 提出先 文部科学大臣ほか

唯一の被爆国として核兵器廃絶のための具体的努力を日本政府に求める請願

請願者 山梨県原水爆被害者の会

会長 高橋 健

要旨

オバマ米大統領の「原爆投下の道義的責任」を認め、「核兵器のない世界」を目指す表明は画期的な意味を持つ。日本政府は唯一の被爆国として「核の傘」や「核抑止力の必要性」でなく、世界から核兵器を廃絶するための具体的努力をすることを求める。全会一致で採択し、請願と同趣旨の意見書を政府関係機関に提出しました。

提出先 内閣総理大臣

意見書 国に意見書を提出しました

「地震特措法」の延長を求める意見書

提出議員 塩澤 浩

要旨 予想される東海地震に対する国の財政上の特別措置に関する法律は、平成21年度末に期限切れとなるが、さらに防災対策を推進することが必要であり、この法律の延長を強く求めるもの。

全会一致で可決し、国会・政府関係機関に提出しました。

提出先 衆議院議長ほか

6月定例会 委員会質疑

議案をさらに細かく各委員会で徹底審査を行いました。

地方分権対策特別委員会

「農産物直売所」

萩原議員 常永地内に農産物直売所を建設するため、町と農協で設計費用をみているが、今後どのように進めるつもりか。
町長 行政の立場から荒廃農地や遊休農地を救つていくため、皆さんの意見を伺いながら進めたい。

水源対策特別委員会

「井戸設置の届出3件報告」

浅川議員 上水道管が入ったら、井戸から上水道に切り替えるという町の方針はあるか。
環境経済課長 使用の井戸と上水道の併用で使つていただく。
福島議員 安心・安全のために上水道をもっと強く推進するべきでは。
環境経済課長 担当課と連携をとり対応する。

総務

三井議員 低公害の公用車購入予算を計上したが、町内業者で購入して欲しい。
総務課長 国へ補助申請後購入する予定。町内で購入する。

産業土木常任委員会

「各区の境界問題」

塚原議員 常永土地区画整理内の飯喰・河西・上河東の区の境界決定を早めに。区画整理課長 企画財政課と区長会に出して確認している。大きな道路や水路で区切つて、基本的に東西線で飯喰・河西をわけ、上河東・飯喰は公園があるところで区切りたい。

環境対策

三井議員 バイオディーゼルの関係で、廃油の回収状況はどうか。
環境経済課長 3月までに

ドラム缶3本分くらいを回収。回収場所を増やしたい。危険でない方法を考える。役場1カ所だが、よく集まっている。

「交通安全対策」

河住議員 常永土地区画整理内の幹線道路の工事終了予定は。いつ子どもたちが通れるのか。信号の設置予定は。

区画整理課長 平成22年4月供用開始予定。信号は県公安委員会と協議、設置は6カ所に増やす。通学は、これから学校側と話し合っていく。

福島議員 町道30号線は5カ年計画に入っている。前向きにやっていくのか。
町長 玉川団地東側の葦間の部分の用地買収が進まなかったことや、予定路線の変更などあり遅れているが、前向きに検討している。
福島議員 葦間のところはどうなっているのか。
建設課長 アルプス通りとの接続に併せて話をする。

教育厚生常任委員会

「福祉課関係」

河住議員 常永児童館の増設はどうなるのか。
福祉課長 定員50名が69名になる。
萩原議員 現状の利用者数はどのくらいか。
福祉課長 登録者は52名。地域活性化の補助金がらみで69名までの定員の施設が増築できない。

MEMO

町道30号線

押越区にある南消防署まへの昭和バイパスと交差する道で、玉川団地の東側を通り西条新田区からアルプス通りに向う道路です。



町長・教育長

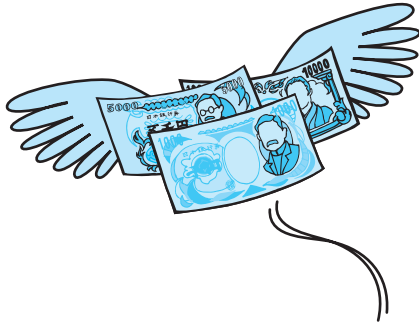
町職員

議会議員

期末手当 引き下げを可決

約745万円 減額

町の財政状況、人事委員会の勧告と民間給与等の状況を考慮し、町長・教育長、職員、議員報酬の期末手当を減額するものです。



★ 町長・教育長・議会議員の
期末手当は0.15カ月分減額
(全会一致で可決)

★ 一般職員は期末・勤勉手当
をあわせ0.2カ月分減額
(賛成14、反対1で可決)

一般職員のほうが特別職・議会議員よりも0.05カ月減額が多いのは、勤勉手当が含まれるためです。

期末・勤勉手当

地方公務員は条例により定められており、生計費を補うために支給される生活給的性質を有する手当で、勤勉手当は職員の勤務成績に応じて支給される能率給的性格を持った手当です。

反対理由 深澤平助議員

公務員の賃金は、前年冬と当年の夏の民間支給額を調べ、8月に人事院が勧告するが、今回は一部企業の調査をもとに前倒して削減を勧告したもので、ルール無視である。景気回復が求められる今、消費低迷と景気悪化を加速するもので、道理に合わず反対です。

視察

議員活動報告

産業土木常任委員会

(6月19日)

工事箇所を現地確認



埋立て前の調整池外部

常永土地区画整理事業地内には、河川の氾濫を防ぐため、4カ所の調整池が計画されています。3カ所の調整池は、常永土地区画整理組合の財源で造り、この調整池は上流の雨水対策のため町で造ります。

今年の8月末に完成する4号調整池の工事費は約4億2778万円です。大型事業のため工事途中ですが、議員全員で視察を行いました。

昭和町の議会活性化を

視察に訪れた他町議会

7月3日

福岡県立花町議会

7月7日

長野県原村議会

住民と議員の対話集会

井戸端会議



全員協議会で井戸端会議の課題協議

昭和町議会は議会改革の一環として、議員が常に住民との対話に努め、住民の悩みと声を聞き、議論を重ね、調査研究を進めて住民福祉と活力ある地域社会をめざす町政を推進するため、区長会との協働事業として、区民と議員との「井戸端会議」を実施しています。

前年度、試行的に町議会議員のいない飯喰区で行った井戸端会議。平成21年はこれを発展させ、区長会の協力をいただき、町内全区（12地区）で実施します。

「より住み良い町」をつくるための公式
「課題」=「あるべき姿」-「現実」

今後の開催予定

7月は押越区・西条一区・河西区で井戸端会議を計画しています。
開催日は各地区で回覧されますので、ぜひご参加ください。

住民と行政の橋渡しをすべき議員は、常に住民の中に飛び込んで、住民の大きな声、小さな声、声なき声のすべての声を把握して、住民の心情をつかみ、それを議員の声・心・知恵として物事に取り組みます。

井戸端会議の翌日から個々の議員は調査研究に入り、5月19日・6月3日・6月11日と各常任委員会で課題について検討しました。

議会は
こう対応
します

井戸端会議で出された意見・要望は、担当常任委員会で問題を調査研究し、結果報告書を作成し、区長に提出します。昭和町議会ではこういう活動を通じて「より住みよい町」をつくらうと願っています。住民の生の声は大きな財政支出が伴うものや、昭和町だけではどうにもできないものもあり、すべての意見・要望を満たすわけにはいきませんが、議会は執行機関と一緒に課題解決に知恵をしばっていきます。
(紙面の都合上、一部意見要旨のみ掲載)

第1回井戸端会議（飯喰区）

土地地区画整理事業の
幹線道路、早期完成を



4月28日

飯喰区集落センター

出席者 飯喰区民15人
参加議員7人
産業土木常任委員会 塚原將司委員長

おもな

意見・要望

と

議会の対応

Q 「地球温暖化」の呼び名を「地球高温化」に変え、行政と住民が危機感を持って取り組もう。

A 今後の課題とする。

Q 常永土地地区画整理事業に議会のチェックが不十分ではないか。工事中のため飯喰区から出るのに住民が困っている。幹線道路の早期完成を指導願いたい。

A 幹線道路は平成22年3月に完成。人が通行する部分はできるだけ早く仕上がるよう努力する。



工事中の幹線道路

Q 高齢者の介護が増加している。お互いに悩みを話し合う場所がほしい。

A 今後の課題とする。

Q 「行政区に権限委譲」はどうなった。どこの区でも区長の受け手がなく苦勞している。区長業務の軽減を望みたい。

A 町長・総務課長など担当職員が12区全部で懇談会を開催し、区役職員の意見を伺っている。6月議会で一般質問する。



町長による地区懇談会

Q 飯喰区公会堂の建設と建設後の課題。他地区の事例を参考聞きたいが。

A 築地新居区第2公会堂の建設計画を紹介した。

第2回井戸端会議

(河東中島区)

5月8日

地区公会堂

若者が住めるような
地区にしてほしい



出席者 河東中島区民16人
参加議員7人
教育厚生常任委員会 樋口敏夫委員長

おもな

意見・要望

と

議会の対応



押原中フェンス



温水プールのフェンス

Q 町民には緑化を勧めながら、公共施設の緑化は不十分。学校グラウンドに緑の芝生を、フェンス周りに緑の植栽を。
A 6月議会で一般質問した。

Q 同じ市街化調整区域で、甲府市では開発できるのに、昭和町では規制されている。
Q 河東中島地区は高齢化率が町内で最も高いが、市街化調整区域の規制で若い人が家を建てて住めない。
Q 各公会堂のパソコンは利用されて



下水道が望まれる幹線道路
(町道6号線)

いない。使い方の検討をしてほしい。
A 6月議会で一般質問した。
Q マスタープランの短期・中期・長期が不明瞭では。河東中島地区内の都市計画道路2本の整備を促進しないと、イオンの開業で大渋滞が起こる。
Q 常永駅前が狭苦しい。整備してほしい。
A 当局は財政状況を見ながら検討中。
Q 身延線下の農地に汚水が流れ込む。下水道の整備を望む。
Q 町の税金は市街化区域整備にだけ使われている。河東中島のような調整区域は下水道が整備できないのなら、汚水の下水槽の管理費くらい補助すべきだ。
Q 昭和町でも都市計画税を取って市街化区域の整備に使えばよい。他市では山間地でも下水道が整備されている。格差是正を望む。
A 今後の検討課題とする。

第3回井戸端会議（清水新居区）

5月29日
地区公民館

国道横断通学路の 安全対策を



出席者 清水新居区住民66人
参加議員7人
総務常任委員会 遠藤辰男委員長

住民のおもな 意見・要望

- Q 生涯学習活動などに貸し出す教育委員会管理の町保有バスは、県内だけという制限をやめて、近県でも利用できるようにしてほしい。
- Q 清水新居の子供たちが西条小学校に通学するには、国道20号線（甲府バイパス）を横断しなくてはならない。横断歩道橋の設置などの対策を考えてほしい。



国道20号線の横断歩道

- Q 高齢者の家族介護負担が大変である。町立の介護施設を造ってほしい。

- Q 清水新居は狭い道路沿いに古いブロック塀が多く地震の時不安がある。対策を考えてほしい。
- Q 児童センター（ゆめてらす）の運営は硬直化していないか。



大盛況のゆめてらすまつり

- Q 清水新居の子供たちが入学する場合、甲府市内の学校でも西条小学校でも、親の希望でどちらにも通えるようなイメージを与えている。西条小学校も整備されて受け入れの余裕はあるのだから、教育委員会は清水新居区に出向いて話し合してほしい。
- Q 清水新居でボヤがあった。以前から焼却炉があり、火の粉が上がり危険で、住民からダイオキシンの処理について苦情が出ているので、きちんとした対応を望む。

ここが聞きたい

施策を問う

「一問一答方式」により7人の議員が幅広く質問を展開しました。
(再質問・関連質問を含み要約したものです。)

本会議の議事録はホームページで検索できます。
議会事務局でも閲覧できます。

一般質問

Q 広報誌で

町民の朝食の紹介を

河住 「早寝・早起き・朝ごはん」といった健全な生活習慣が学力を高めることを実証している。広報誌で朝食をきちんと取ることの意義を紹介しては。

A 食育の浸透に努める

町長 食生活改善推進委員会では、正しい食生活を習慣づけるため、「みんなの健康」と題して、広報誌にコーナーを設け、旬の食材を活用したメニューを紹介している。朝食の紹介については、委員会をはじめ関係団体の協力を得ていきたい。



Q ノーテレビ、ノーゲームデーの設定を

河住 家族の触れ合いの時間を増やし、青少年の健全育成、学力向上を目的に、テレビを見ない日、ゲームをしない日を設けては。

A 「メディア文化」への取り組みの中で検討

教育長 子どもたちのテレビ、テレビゲーム、携帯電話、インターネット等への長時間接触により、生活習慣の乱れ、コミュニケーション能力の低下等々、多くの問題が発生している。本町は第1日曜日を「家庭の日」に定めている。子どもたちの健全な成長を願う家庭の日の意義を再確認する中で、個々の家庭のライフスタイルの違いを踏まえた上で、「メディア文化」に対する取り組みを検討したい。



かわすみ やすしげ
河住 保茂 議員



かわだ
河田あけみ 議員

Q 命を守るがん対策の充実強化を

河田 無料クーポンで、延べ何人が対象となるのか。

愛育会への検診取りまとめ委託の今後は、町民全体のがん対策強化と、検診率50%への取り組みは。

A 受診率向上に努める

町長 子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポンは、平成21年度限りの措置だが、施策の成果を見て、検診の見直しを検討をする。子宮頸がんは672人、乳がんは580人が対象。

愛育会が地域の中で「女性の健康づくり」の手助けとして、町と協力して行う活動であり、事業が今年度限りなので影響はないと考える。

検診手帳の交付は、受診行動へ誘発できると考える。若年層にもがんが増えており、母子保健事業の中で、受診率向上に努めていく。

Q 緑化保全と 公有地の緑化推進を

河田 議会と住民との井戸端会議で、公有地の緑化を推進すべき、との意見が寄せられた。緑あふれる街並みを目指し、「昭和町緑化推進条例」の策定も検討すべき。

A 緑のカーテンの普及など 施策を検討

町長 田園風景は町民共通の資産で、調和の取れた営農を営む条件を確保し、地域の景観を守ることが重要だ。都市化の進展が著しいが、農地は緑地の意味で大きな役割を果たしている。公共施設の緑化は、県の環境緑化条例の基準を満たすよう配慮し、緑のカーテンの普及など、具体的な施策を検討したい。条例制定は、先進市町村の状況も調査研究したい。



理想の緑化(押原小)

Q 公会堂設置の パソコン活用方法は

萩原 各地区の意見交換の中で共通して出るのは、平成13年に公会堂に設置されたパソコンの活用頻度・方法・経費である。平成15年に策定された「昭和町地域情報化推進計画」も、20年度が最終年だが、地域情報化推進委員会で見直しがされたと聞く。現在の状況、今後の活用方法は

A 利用目的を精査し 方策を検討する

町長 地域イントラネット整備事業と併せ、将来の広域行政情報の運用を見据えて設置されたが、現在は国・県につながるネットワークや、災害時の情報交換などに限り運用している。今後は情報化の進展に伴い、利用目的を精査し、行政区制度も見据えた方策を検討していく。

Q コスモス街道の 整備と町の考えは

萩原 昭和バイパス通り（通称・コスモス街道）は、かいじ国体の開催から23年が経過、コスモスの連作による障害や病気などで生育が思わしくない。管理しやすい宿根草や小花木で埋め、ベンチや休憩場所を設置したらどうか。



はぎはら 萩原 かおる 馨 議員



河西区民が早朝から草取りを行い、コスモスの種をまきました（7月12日）

A 休憩所の設置は県と協議する

町長 町では公共施設や道路・ロータリー、地区公会堂のプランター設置等、花づくりを支援し、3つの協力団体に補助している。厳しい環境にも強いコスモスだが、状況を把握し、専門家にも相談し、コスモス街道を継続するか、花木に変更するか検討する。ベンチ・休憩所の設置は、管理者である県の河川管理課との協議が必要で、関係者の意見を伺いながら検討したい。



たなか ひろよし
田中 博愛 議員

Q 青少年健全育成活動の取り組みは

田中 本町では、将来を担う青少年を健やかに育てるため、地域ごとに青少年育成会が組織され、関係役員や指導員が連携し、非行防止・環境浄化等、活発な活動が行われている。安心、安全のパトロールなど、優良事例がいくつもある。これらを公開し、広めていけば、さらに青少年の健全育成への関心が高まる。町の所見は。

A 広報で活動を取り上げたい

教育長 本町では、子どもクラブやスポーツ少年団、愛育会、議会など24団体により、「青少年育成昭和町民会議」が組織されている。各地区の実践や成果の情報交換が行われ、登下校時の見守り活動やパトロール等は、町内随所で自主的に実施されている。本町の青少年健全育成活動は、全国的に子どもクラブ・育成会が減少する自治体が多い中、12区全てで展開している。地域の子どもは地域で育てるといふ、昭和教育の伝統の力が大きい。

活動をもっと広く周知し、新たな活動も、という質問趣旨は、5月の町民会議の総会でも提起され、協議された。今後、活動の成果や内容をその都度、広報等で紹介していきたい。地区の年間事業を事務局で毎年まとめているので、配付先を拡大するなど、活動の成果が町民の青少年健全育成への関心と意識の向上につながるよう図っていきたい。

A 国の動向を見て無料化を検討

町長 長寿医療制度（後期高齢者医療制度）は、現役世代と高齢者世代の負担を明確にし、高齢者自身も保険料と医療費負担をすることで、後代まで国民皆保険を引き継いでいくものです。医療費無料化は、財源の確保を考えなければならぬが、主要財源である法人税等が見込めないため、当初予算も緊縮型予算とした。国も制度の充実に向けており、動向を見据えた上で内容を検討していきたい。



ふかさわ へいすけ
深沢 平助 議員

Q 75歳以上の高齢者医療費無料化を

深沢 東京都の日の出町では、75歳以上の医療費無料化を決め、病院窓口で支払う医療費の自己負担分を、町の全額負担で実施している。低所得の高齢者には医療費は大きな悩みで、無料になればその喜びも大きい。本町でも75歳以上の高齢者の医療費を、無料にすることを強く望む。

Q 行政区への 権限移譲は



しむら 茂 議員

志村 行財政審議会の答申を受け、町が進めようとしている道州制を見据えた行政区制度改革、各区への権限移譲の内容は。祭りや敬老会等の見直しがあるのか。町会議員と区長の兼務は好ましくないのでは。各区を町の行政区に位置づけ、担当職員を設けるようだが、現状に余裕はあるのか。

A 主体的な区の運営を促進

町長 使い道が指定されている現行制度から、各地区が主体的に補助金を活用できるよう補助金を一本化し、各区担当職員がサポートする中で町民と協働のまちづくりを進めることが、行政区への権限移譲の骨子だ。今月から地区懇談会で提案し、意見を伺っている。

地域の歴史のなかで育まれた祭りや事業の充実が可能となり、町が見直しをするものではない。

区長と議員の兼務の善し悪しは、各区の事情があり、町長としては言及できないが、行政区制度改革協議の中で検討もありうる。職員が区に出向き、町民とともに考え、ともに汗を流すことはまちづくりに不可欠なことで、今まで以上に町民の視点に立ち、区の課題や実情を把握し、問題を解決することで、成長できると確信している。

Q 総合的な防災 対策の確立を



ほさか 明子 議員



A 地域防災計画の見直しに着手

町長 2月、地域防災計画を見直し、押原公園を広域的避難地に位置づけ、町内一時避難集合地の追加、防災無線デジタル化、災害物資調達の拠点整備、自主防災組織の強化等をした。要援護者登録カードの整備、自主防災組織の支援体制の確立を急ぎ、要援護者を対象とした防災訓練を実施できるよう努める。

12地区すべてに自主防災組織があるが、大半が区の役員による組織となっている。住民が自助意識を高め、公助として町が対応する上で、家庭の防災力調査を検討する。ブロック塀の耐震調査、災害避難時のヘルメット着用義務付けと補助金制度は、現在、倒壊の恐れのない生け垣の設置を補助事業として推奨している。災害時、女性の活動は必要不可欠だ。女性団体連絡協議会等と連携を図り、防災会議の委員への登用についても検討する。

保坂 要援護者を対象とした防災訓練を各区で実施すべきだ。自主防災会の構成、現状は。住宅の耐震性、家具の固定、飲料水の備蓄など、家庭の防災力調査を。ブロック塀の耐震調査、災害避難時のヘルメット着用義務付けと補助金制度の実施を。

町の防災会議に女性委員を登用し「男女共につくる防災のまちづくり」の実現を。

追跡



あの一般質問は どうなった？

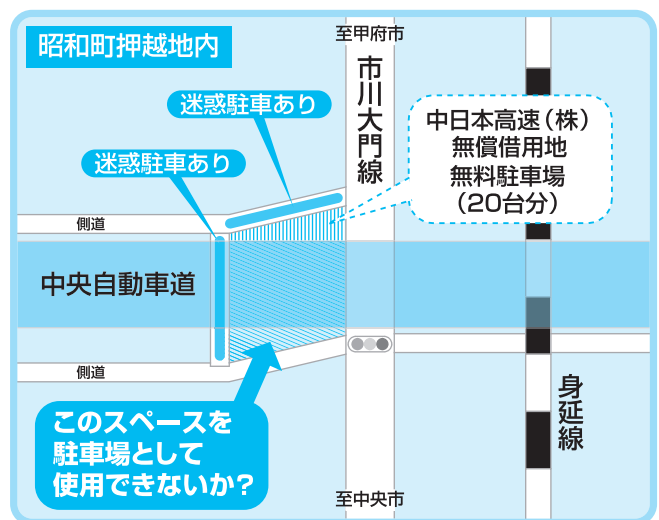
区長との意見交換会・河東中島区での井戸端会議でも意見が寄せられました。
現時点で迷惑路上駐車も後を絶ちません。改善策の途中経過をお知らせします。

押越地内 中央道高架下空気を駐車場に

(平成19年9月議会 質問者：河田あけみ議員)

問 中央道高架下の高速バス利用者のための無料駐車場（20台収容）は平日、休日を問わず午前中には満車となっています。側道と高架下の道路には青空駐車の車が多く、一般車両の通行に支障があるが対策は。

答 無料駐車場は平成8年に道路公団（当時）との契約で町が無償で借り、中央道昭和バス停利用者の便を図っている。路上駐車禁止の貼り紙をしたがほとんど効果はない。中日本高速道路（株）は、高架下のスペースを駐車場として利用することは橋脚への車の衝突、落下物による危険があり不可ということである。



その後

- ・平成20年11月、区長との意見交換会、平成21年5月の井戸端会議でも迷惑駐車に対して意見がありました。
- ・平成20年12月25日、中日本高速道路（株）の回答は、天井コンクリートの剝離対策には何千万円も要し、無償での賃貸借は困難で、駐車場としての開放は非常に難しい。

既存の無料駐車場も契約後12年を経過しており、町で購入していただくか、有償での契約に変更したい。

結論

町では駐車場の拡張は行わず、駐車禁止対策として路上へ駐車禁止ポール、駐車禁止マーク、満車の場合の緊急仮駐車場の看板設置を予算計上しています。

8月には迷惑駐車対策工事を行う予定です。



迷惑駐車はだめ

高速バス停利用者をお願い 緊急の場合を除き、送迎による利用をお願いします。

青空と緑と産業のまち「昭和町」に住む
皆様にご意見・ご感想を伺いました。



都市化が進む 昭和町の発展に思う



飯喰区

清水

万蔵さん

私が昭和町に越してきたのは25年前です。当時は県道、布施竜王線に路線バスが1日4往復しか通らなく、家の周りには促成トマトやキュウリのビニールハウスが立ち並び、休日ともなると両親の農作業を手伝い、近所の人たちと畦(あぜ)でお茶を飲んだり、世間話をしてコミュニケーションを深めてきました。

昭和町は合併せず単独の町を選んだので、今までどおりの大変細かいスピーディーな対応ができ、福祉や教育においても充実した環境が整っています。

行政や町議会議員の方々には、行政区制度改革や議会改革に取り組んでおられ、区民との対話集会や井戸端会議で、自治意識を高めるために町民と意見交換をしており、大変良いことと思います。

今、常永地区は区画整理事業が進んでおり、2年後には大型ショッピングセンターが開店されます。

このように都市化が進み、時代とともに町が変化することは当然ですが、将来を担う子どもたちのために、緑と自然と伝統行事を残して継承していくことが、将来の昭和町の発展につながってくると思います。

銀河鉄道の河東中島



河東中島区

笹本

禮子さん

22年前、家族3人で河東中島区に越してきました。3歳の長男はようやく寝付くころ、身延線の電車の音が聞こえてくると、「ガバツ」と起きて、「銀河鉄道きれいだね」と喜んでいました。河川清掃の時、父親と出かけていき、帰ってきた時には、バケツの中にドジョウやザリガニがたくさん入っていて、うれしそうに笑顔を昨日のように思い出します。草むらで虫を捕まえ、田んぼにレンゲを摘みに行き、豊かな自然が残っている子育てにはとても良い環境でした。図書館にも、プールにも良く通いました。

朝、起きると玄関に丹精こめて作った野菜が置いてあり困ったな、誰だろうと思っ

ていると道であった。ご近所さんに「置いといたよ」「ありがと、ごちそうさま」。今でもずっとこんなあいさつが続いていて、人の温かさ、農地の恵みに感謝しています。春は桜が咲き、夏は蛍が飛び交い、秋は田んぼが黄金色に変わる中島の自然を、これからも大切に守っていききたいと思えます。ただ、今はドジョウやザリガニは少なくなっているようです。河東中島区も早く、下水道が整備されますことを願っています。



本町の議会広報誌の歴史は昭和49年5月に第1号が創刊され、県内の議会広報誌としてはトップランナーでありました。

当時の一般会計は4億円、平成21年度一般会計予算は緊縮型予算であっても、約70億円あります。

この経過の中には、いろいろな出来事があったことと思いますが、先代の方々に感謝、感謝であります。

各議員は議会活動を町民にお知らせする唯一の方法であり、頑張っている町民にも登場していただき、町民と共に歩み読みたくなる議会広報誌になるよう努力しております。

お気付きの点がありましたら、お気軽にご意見・ご感想をお寄せください。(萩原 馨・記)

- | | |
|-----|-------|
| 議長 | 河田あけみ |
| 副議長 | 河住 保茂 |
| 委員 | 萩原 馨 |
| 委員 | 野中 敏美 |
| 委員 | 塩澤 浩 |
| 委員 | 保坂 明子 |

議会を傍聴 しませんか

次回定例会は
9月8日
開会予定です

議会事務局 ☎275-8842
(担当:海野・佐藤)

